

まいんど

マインド

mind

荒行、問題僧の所業

遠寿院が公開

この4月、荒行の伝統を
伝える日蓮宗遠寿院（戸田
日暮市）。千葉県市川市

「なつた」と公言していくねらい。
第1回、2020年夏

年10月21日 同11月18日号
「集団脱走事件の真相と
今一参照。」

宗門行堂で初行僧のひとりが重傷を負わされ、出身地の警察に被書留を出し、そ

門行堂の経験者が入門する現象が1980年代後半から見られるようになった。

を呼び戸田らが同席して急手当をした。が、不審

Aの数名の初行僧は、一
巻「」と称して睡眠中に叩き起しられ、正座をしたま

筆者は遠東銀行社長
部委員である以上、おま
宗門サイドの取材は直

と。以下、宗門行堂と表記。遠寿院行堂は宗門とは別に独自運営。経緯については、仏教タイムス2002年6月23日号、2002

え、辞令を拒否し、宗門機構から離脱した（詳細は影山教俊『日蓮宗とは何か』147～184頁）。

は、「あばら骨が3本折れた」ことを死「僧の地元宗務所長が認めているのである。

か。訓示後、そのことをすと初行僧のひとりが「わて柱の角に頭をぶつた」と答えた。側頭部に裂傷がある。直ちに医

学年退の「惡名」もあつて、
のか、讀經中の態度を悉く
伝師から叱責されると訓
係の再行僧たちの仕打ちが
始まった。目をつけられ
始まつた。

たが育門た
う。
(敏)

藤田 庄市

シリーズ
<108>



加行所であることを刻印する
遠寿院境内の石柱(藤田撮影)

暴行の宗務院。しかるが、記事で本折れ地元宗のでは、記事で出ていた。戸田が指導のため行堂へ出向くと回廊に血痕が虐待され、と続いているではないか。訓示後、そのことを尋ねて柱の角に頭をぶつけた」と答えた。側頭部に腫れ、い裂傷がある。直ちに医療を呼び戸田らが同席して急手当をした。が、不審な覚え、密かに一人ずつ聞き取り調査を行った。すると、再行僧が木鉢を叩いて殴られたことがわかり、ほかの暴力も明らかになつた。また同年度は遠寿院幣束が宗門行堂で売られることも明るみに出た。同時に、遠寿院行堂で書写された相伝書が流出したことは報があった。なぜ流出したことかは不明のままだ。なお門行堂に相伝書はなく、この行堂改革が開始された。(前記「仏教タイムス」参照)こうした状況のもと、2019年に遠寿院の「悪行は隠蔽しない」方針に則つたもので、

「何のための“行、なのか

ピューを行つたが、筆者の判断で匿名とした)。Aは「ぶつちぎれて」宗門行燈を50日で退堂したのは一年だった。宗門の学寮・中学中退の“悪名”もあつて、読経中の態度を素直に伝師から叱責されると訓説係の再行僧たちの仕打ちが始まった。目をつけられ、Aら数名の初行僧は、「裏襲」と称して睡眠中に叩き起こされ、正座をしたままずっと両手を上に上げさせられ、風呂場で水をかけられ、食事中には背中から水をかけられる日々が続いた。精神的に追い詰められ、退堂となつたのである。Aより先にすでに3人が退堂していた。なおAこの年、暴行や金錢強要にしていない。

なせ宗門行堂でかくなれ所業が起り、続いていののか、遠寿院はなぜ行堂革に踏み出せたのか。一切団内の問題として見るのではなく、伝統仏教教団の在り方として、広く問ひを立てるべき問題であつう。